



取引力強化推進事業補助金とは？

共同販売や共同受注の活性化のため、組合や組合員企業の扱う商品やサービスをPRするためのホームページやパンフレット、ロゴデザイン等の作成を補助します。

補助金額・補助率

10～50万円(税抜)

※補助対象経費の2/3を助成します。
※応募組合等が多い場合は上限に達しない場合があります。

補助対象経費

謝金、旅費、消耗品費、会議費、印刷費、
会場借上料、雑役務費、通信運搬費、委託費

当補助金は令和8年度も実施予定です。補助金の活用を希望される組合等は、中央会担当者までお気軽にご相談ください。

山梨の味を、もっと伝えたい

～甲州みそ・山梨県産しょうゆブランド強化の取り組み～



担当：笠井

山梨県味噌醤油工業協同組合 武田信彦理事長／組合員10名

○組合の現状と抱えていた課題

人口減少や食生活の多様化、流通の広域化・デジタル化により、地域産品を取り巻く環境は激変しています。本組合においても、基礎調味料である味噌や醤油は、単に「品質が良い」だけでは消費者から選ばれにくくなっており、産地の長が明確に伝わらなければ、激しい価格競争に埋もれてしまう懸念がありました。

特に、「甲州みそ」と「山梨県産しょうゆ」は、いずれも長い歴史と確かな技術に支えられた山梨を代表する発酵食品でありながら、統一的なブランド表現がなく、消費者にその違いや価値が十分に伝わっていないことが課題でした。

○取引力強化に向けた具体的な取り組み

こうした危機感を背景に、産地の魅力を「分かりやすく伝える」ためのブランド化事業に着手しました。まず、消費者が山梨の醸造品に何を求めているかを把握するため、アンケート調査を実施しました。その結果、味や品質は高く評価されているものの、「他産地との違いが伝わりにくい」といった具体的な課題が浮き彫りとなり、ブランド強化の方向性が明確になりました。その後、蔵元への現場視察や委員会での検討を重ね、



委員会の様子

両品目が共有する価値を整理し、その象徴として専用のロゴマークを制作しました。

・「甲州みそ」ロゴマーク

「米麴と麦麴を合わせる全国的にも珍しい製法」という特長を核に、発酵の力と山梨の風土を表現しました。SNSやグッズ展開も見据えたシンプルで現代的なデザインとすることで、若年層への訴求力を高めています。



甲州みそロゴ

・「山梨県産しょうゆ」ロゴマーク

名水に支えられた醸造文化と奥深く穏やかな味わいをイメージし、日常使いから贈答まで幅広く活用できるデザインとしました。主張し過ぎず、それでいて確かな産地性が伝わることで、「どこのしょうゆか分かる」「安心して選べる」存在となることを目指しています。



しょうゆロゴ

○事業の成果と今後の展望

本事業の成果は、単なるロゴマークの作成にとどまらず味噌と醤油を「山梨の発酵文化」として、一体的に発信する土壌を整えたことで、産地価値を再構築し、組合員の取引力強化に向けた重要な基盤を築くことができました。

今後は、このロゴマークをパッケージへの活用はもちろん、グッズ展開やSNS発信など、アンケート調査結果を踏まえた戦略的なPR活動に展開し、山梨が誇る発酵文化の魅力を消費者に分かりやすく伝え、次世代へとつないでいくことで、産地の持続的な発展につなげていきたいと考えています。